

Ｑおおがわらまち 議会だより

第147号
平成30年5月1日

QRコードから
議会の情報を
ご覧ください



大河原町議会



大河原小学校 新学期登校風景

平成30年度予算概要	②③
予算質疑・討論	④⑤
町政への提言	⑥
議案審議(2月・3月議会)	⑱⑲⑳
議決責任明確化	㉑
常任委員会所管事務調査	㉒
その後どうなったあの提言	㉓

平成30年度予算規模は前年度比 0.2%減の139億4405万円

一般会計 前年度比 5.1%増の **82億8744万円**

重点施策 町長施政方針



▲学校給食センター予定地(金ヶ瀬)

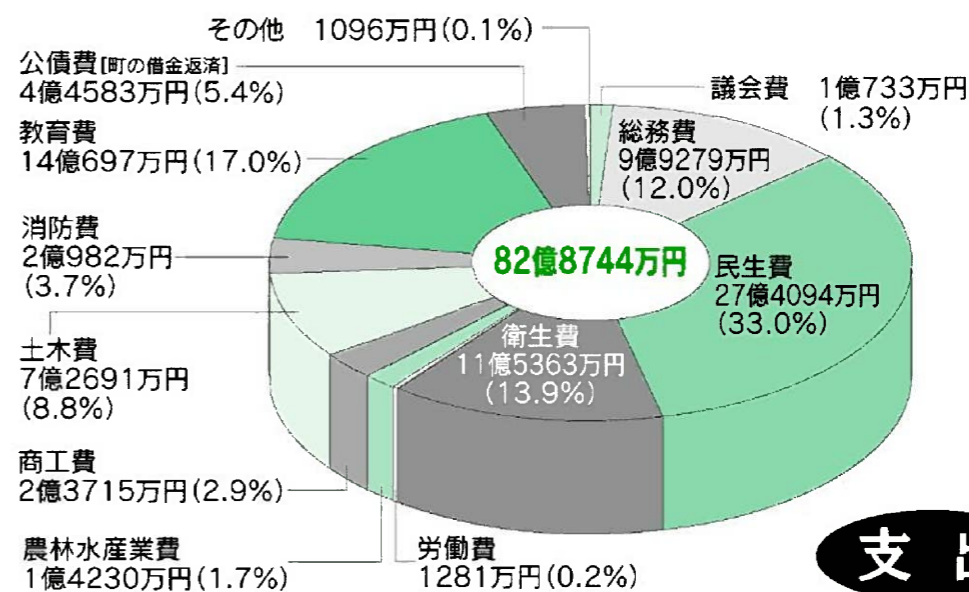
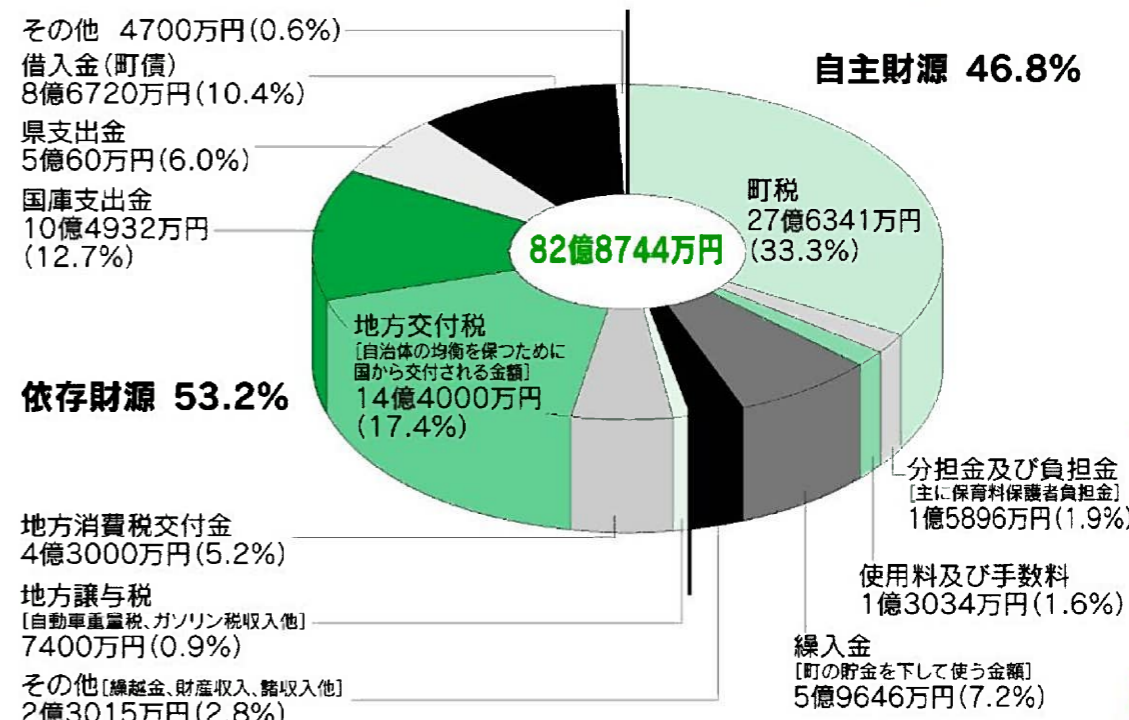
- 新学校給食センター整備工事
- 「大河原町地球温暖化対策実行計画事務事業編」策定
- 鷺沼に保管している側溝汚泥処分
- 「子育て世代包括支援センター」設置
- 第2上谷児童館児童クラブ開設
- 「子ども食堂」開設・運営団体助成
- 放送大学宮城学習センター視聴施設オーガに誘致
- 庁舎総合案内設置

全8会計予算額

会計名	予算額	前年度比較
一般会計	82億8744万円	5.1%
後期高齢者医療特別会計	2億6530万円	5.7%
国民健康保険特別会計	21億5979万円	△15.9%
介護保険特別会計	13億9574万円	7.7%
仙南夜間初期急患センター事業特別会計	3518万円	3.5%
地方卸売市場事業特別会計	380万円	△1.8%
公共下水道事業特別会計	9億628万円	11.6%
水道事業会計	8億9052万円	2.8%
合計	139億4405万円	△0.2%

※工業用地造成事業特別会計は造成事業完了で平成29年度で廃止。 ※国民健康保険特別会計は、県単位化に伴い予算変更。

一般会計



子育てと福祉のために
一人あたり35万円使われます。

予算審査特別委員会審議

採決の結果原案通り可決

問 ごみ収集運搬業者の入札後、辞退により指名停止の行政報告は受けているが、その後どうなったのか。

答 次点の企業と契約を行った。

問 アパート建設が多くみられるが、ごみ集積所が増える中で、収集契約金に変化はないか。

答 収集個所ではなく距離での契約となっていることから、問題はない。

問 放課後子ども教室業務委託料に賛成する。

しかし、委託の対象は南小学校のみであり、他の関連予算を含めた児童一人当たりの予算額において、南小学校が突出している。

3小学校の間で公平かつバランスの取れた事業

問 放課後子ども教室業務委託料に賛成する。

しかし、委託の対象は南小学校のみであり、他の関連予算を含めた児童一人当たりの予算額において、南小学校が突出している。

3小学校の間で公平かつバランスの取れた事業



▲放課後子ども教室での活動

問 展開が行われるべきではないか、何う。

答 そのように考え、他の2小学校でも委託できる団体の発掘に努める。

問 学校業務員について、中学校で請負委託から派遣委託に変更の理由。小中の委託の違いは。

答 指揮系統を明確にする。派遣は校長から直接業務員に指示できる。小学校は今年度はこれまでどおり請負委託とする。



▲仮置きされている土砂

問 鷺沼保管側汚泥処理業務委託料1700万円計上されているが、処理量と搬入先、委託業者は。東京電力に請求するのか。

答 処理量は268袋。仙台にある最終処分場に搬入する。町外の産業業者に委託する。対象外になっているが

問 特別養護老人ホームの待機者は何名いるのか。介護3以上でない入所できないと聞いているが、特例で介護1・2の入所者はいるのか。

答 桜寿苑の待機者は16名となっている。特例でない。



▲特別養護老人ホーム桜寿苑

問 総務省消防庁で消防団に対して「多機能消防車」の無償貸付する制度がある。本町も申請すべきではないか。

答 確認して検討する。

問 消防費の印刷製本費の内容は。また、団員勧誘の際に手配りできるような、入団啓発のチラシを作成しないか。

答 内容は、防火チラシ、感謝状印刷、出動簿の印刷費となっているが、啓発広告に対して検討する。

問 特別養護老人ホームの待機者は何名いるのか。介護3以上でない入所できないと聞いているが、特例で介護1・2の入所者はいるのか。

答 桜寿苑の待機者は16名となっている。特例でない。

問 家族介護用品支給として90万円計上されているが、前年度比で増えているが、前年度比で増えているが、支給基準の中で厳しい文言があるので見直すということだったが改善はされなかったのか。

答 基準については精査している。おむつ券は17名に支給している。国は今後、この事業を介護事業外とする考えもある。

問 企業版ふるさと納税は行わないのか。

答 今のところ行う計画はない。

問 初期消火を迅速に行えるよう、消防団員が火災現場に到着してもポンプが来るまで消火活動ができないことが無いようにホース等格納庫の設置を検討すると決算委員会と言っていたが予算のどこに計上されているのか。

答 当町は消防署から10分以内で到着できるので設置には及ばないと協議していたが、再度関係者と検討する。

問 消防費の印刷製本費の内容は。また、団員勧誘の際に手配りできるような、入団啓発のチラシを作成しないか。

答 内容は、防火チラシ、感謝状印刷、出動簿の印刷費となっているが、啓発広告に対して検討する。

問 国土利用計画の重点方針に工業用地の確保、整備を掲げているが、計画で触れていない。

答 計画で触れていない。

問 特別養護老人ホームの待機者は何名いるのか。介護3以上でない入所できないと聞いているが、特例で介護1・2の入所者はいるのか。

答 桜寿苑の待機者は16名となっている。特例でない。

問 家族介護用品支給として90万円計上されているが、前年度比で増えているが、前年度比で増えているが、支給基準の中で厳しい文言があるので見直すということだったが改善はされなかったのか。

答 基準については精査している。おむつ券は17名に支給している。国は今後、この事業を介護事業外とする考えもある。

問 総務省消防庁で消防団に対して「多機能消防車」の無償貸付する制度がある。本町も申請すべきではないか。

答 確認して検討する。

問 消防費の印刷製本費の内容は。また、団員勧誘の際に手配りできるような、入団啓発のチラシを作成しないか。

答 内容は、防火チラシ、感謝状印刷、出動簿の印刷費となっているが、啓発広告に対して検討する。

問 国土利用計画の重点方針に工業用地の確保、整備を掲げているが、計画で触れていない。

答 計画で触れていない。

問 特別養護老人ホームの待機者は何名いるのか。介護3以上でない入所できないと聞いているが、特例で介護1・2の入所者はいるのか。

答 桜寿苑の待機者は16名となっている。特例でない。

問 家族介護用品支給として90万円計上されているが、前年度比で増えているが、前年度比で増えているが、支給基準の中で厳しい文言があるので見直すということだったが改善はされなかったのか。

答 基準については精査している。おむつ券は17名に支給している。国は今後、この事業を介護事業外とする考えもある。

問 初期消火を迅速に行えるよう、消防団員が火災現場に到着してもポンプが来るまで消火活動ができないことが無いようにホース等格納庫の設置を検討すると決算委員会と言っていたが予算のどこに計上されているのか。

答 当町は消防署から10分以内で到着できるので設置には及ばないと協議していたが、再度関係者と検討する。

問 消防費の印刷製本費の内容は。また、団員勧誘の際に手配りできるような、入団啓発のチラシを作成しないか。

答 内容は、防火チラシ、感謝状印刷、出動簿の印刷費となっているが、啓発広告に対して検討する。

問 国土利用計画の重点方針に工業用地の確保、整備を掲げているが、計画で触れていない。

答 計画で触れていない。

問 特別養護老人ホームの待機者は何名いるのか。介護3以上でない入所できないと聞いているが、特例で介護1・2の入所者はいるのか。

答 桜寿苑の待機者は16名となっている。特例でない。

問 家族介護用品支給として90万円計上されているが、前年度比で増えているが、前年度比で増えているが、支給基準の中で厳しい文言があるので見直すということだったが改善はされなかったのか。

答 基準については精査している。おむつ券は17名に支給している。国は今後、この事業を介護事業外とする考えもある。



▲蔵王町に設置されているホース格納庫

総括質疑

伊勢 敏

問 平成30年度一般会計予算案の最大の特色は、貯金を大幅に取り崩し、借金を大幅に増やすことだ。決算時にプライマリバランス(基礎的財政収支)を黒字にできるか。

答 プライマリバランスの黒字化を目的とはしていない。予算編成時の赤字額の縮減に努める。

問 道の駅を広域連携に位置付ける考えはあるか。

問 職員研修の中で、(財)地方自治情報センターの研修「情報人材育成プラン」を実施してはどうか。

答 IT知識の向上は専門分野の実務研修で行う。

問 町長は、30年度施政

問 計画で触れていない。

答 計画で触れていない。

問 国土利用計画の重点方針に工業用地の確保、整備を掲げているが、計画で触れていない。

答 計画で触れていない。

一般会計

〔反対討論〕

万波 孝子

(1) 仙南広域が決定した汚染廃棄物試験焼却は認められない。理由は環境汚染や健康被害が懸念され、中止を求める住民を無視しており住民合意が得られていないこと。国は焼却は安全と言っているが、日本科学者会議の論文によるとバグフィルター除去率の検証に0.3マイクロメートル以上の

粒子しか捕捉できない装置を使っていたことが判明。よって焼却でなく保管処理に変えるべき。

(2) 税の滞納整理のために県の滞納機構への参加は強制徴収化に導くもので反対。

賛成討論

高橋 豊

今回提案された平成30年度大河原町一般会計当初予算について歳入歳出共82億8743万7千円で、前年度に比べ、4億

方針の中で「生命と安全を守る」といながら、放射能廃棄物焼却に対し懸念や中止を求める住民の声を無視し、この問題に一言もふれていないのは何故か。住民合意を得るための努力が述べられてしかるべきでないか。

答 実施は仙南広域。安全性が十分確保された上での実施であると認識したので特に触れなかった。

問 政府は米の生産目標の配分と直接支払い交付金も廃止する。米農家が

不安の声が出ている。転作にたまねぎ等を栽培する際に必要な消毒機への補助等町独自の支援は。担い手育成への取組みは。

答 「水田農業推進協議会助成金」を創設し、麦・大豆・枝豆・たまねぎ栽培に助成する。担い手については、ほ場の大区画化や農地集積による作業の効率化で所得向上させ、魅力ある農業を目指して後継者の育成を図る。

不安の声が出ている。転作にたまねぎ等を栽培する際に必要な消毒機への補助等町独自の支援は。担い手育成への取組みは。

答 「水田農業推進協議会助成金」を創設し、麦・大豆・枝豆・たまねぎ栽培に助成する。担い手については、ほ場の大区画化や農地集積による作業の効率化で所得向上させ、魅力ある農業を目指して後継者の育成を図る。

不安の声が出ている。転作にたまねぎ等を栽培する際に必要な消毒機への補助等町独自の支援は。担い手育成への取組みは。

答 「水田農業推進協議会助成金」を創設し、麦・大豆・枝豆・たまねぎ栽培に助成する。担い手については、ほ場の大区画化や農地集積による作業の効率化で所得向上させ、魅力ある農業を目指して後継者の育成を図る。

不安の声が出ている。転作にたまねぎ等を栽培する際に必要な消毒機への補助等町独自の支援は。担い手育成への取組みは。

答 「水田農業推進協議会助成金」を創設し、麦・大豆・枝豆・たまねぎ栽培に助成する。担い手については、ほ場の大区画化や農地集積による作業の効率化で所得向上させ、魅力ある農業を目指して後継者の育成を図る。

不安の声が出ている。転作にたまねぎ等を栽培する際に必要な消毒機への補助等町独自の支援は。担い手育成への取組みは。

答 「水田農業推進協議会助成金」を創設し、麦・大豆・枝豆・たまねぎ栽培に助成する。担い手については、ほ場の大区画化や農地集積による作業の効率化で所得向上させ、魅力ある農業を目指して後継者の育成を図る。

不安の声が出ている。転作にたまねぎ等を栽培する際に必要な消毒機への補助等町独自の支援は。担い手育成への取組みは。

答 「水田農業推進協議会助成金」を創設し、麦・大豆・枝豆・たまねぎ栽培に助成する。担い手については、ほ場の大区画化や農地集積による作業の効率化で所得向上させ、魅力ある農業を目指して後継者の育成を図る。

不安の声が出ている。転作にたまねぎ等を栽培する際に必要な消毒機への補助等町独自の支援は。担い手育成への取組みは。

答 「水田農業推進協議会助成金」を創設し、麦・大豆・枝豆・たまねぎ栽培に助成する。担い手については、ほ場の大区画化や農地集積による作業の効率化で所得向上させ、魅力ある農業を目指して後継者の育成を図る。

町政への提言Q&A

一般質問とは、町長や教育長に対して事務の執行状況や将来に向けての考えなどを問い質すもの。今回11人の議員が行った。

岡崎 隆 P⑦

- 産業振興、企業誘致を優先すべき

万波 孝子 P⑧

- 科学者「汚染廃焼却は安全でない」
- 教員の多忙化解消は急務

高橋 芳男 P⑨

- マンホール劣化対策を
- 未就学児のペナルティー廃止を

伊勢 敏 P⑩

- 検証が必要な「放射能不検出」
- 第6次長総(素案)について 戦略プロジェクトの見直しを長総に環境政策の継続を

柘 和也 P⑪

- カトリック保育園前に歩道を

堀江 一男 P⑫

- 桜カレンダー全戸無料配布を
- 運転免許証返納者へ支援充実を

大沼 忠弘 P⑬

- 学びのへや満足度向上を
- 作業所さくらについて問う
- オリジナル届出用紙作成を
- 郷土かるたを作成してみてもどうか(掲載なし)

佐久間克明 P⑭

- 非常備消防団の活動力強化を
- 地域経済の今後の見通しは

山崎 剛 P⑮

- 歩道の段差をなくせ
- 桜保育所の建て替え後の公園は

高橋 豊 P⑯

- 大河原商業高校跡地活用の議論を

須藤 慎 P⑰

- さらなる体力向上を



問 産業振興、企業誘致を優先すべき

答 バランスを考え検討



おかざき 岡崎 たかし 隆

問 30年度施政方針の中身から、中央公民館を核

わが町は交通の便もよく、住むために選ばれる町としてのポテンシャルは高い。しかし今後も続く生産年齢人口と地方交付税の減少という現実から目を背けてはいけない。そこで未来ある子供たちのためにまた、多くの町民が豊かに暮らすためにも、良い人材が育つ教育等の環境整備と企業に対し、他の自治体がおこなっている支援策とは異なる取り組みが必要であると考えるので、以下質問する。

一般質問

問 土地があるかないかではない。町内にはいくつか空き物件となつている町工場もあり、一気に大きな誘致ではなく、ポイントの企業誘致もあると考える。ターゲットを絞つてその企業が求め

とするにぎわい創出の取り組みのほかに、既存の町内企業の支援や今後の企業誘致を進める姿勢が汲み取れず残念である。川根工業団地が一段落したということに安堵せず、切れ目のない取り組みが必要ではないか。

る人材ニーズを育てながら誘致する方法もある。30年間で延べ2000万円以上の補助金を出している仙南職業訓練協会、大河原商業高校、仙台大など、人材や人材育成の土台があるにも関わらず活用すべきものを活用していない。今こそ産学官の連携の取り組みを広域連携で取り組むことが必



▲人材育成に期待のかかる仙南職業訓練センター

要ではないか。町長 町として子どもたちが生涯働ける職場を作るために様々な議論を尽くしていきたい。



万波 孝子

問 科学者「汚染廃焼却は安全でない」

答 国は立証し安全と言っている

仙南広域理事会は、焼却すれば放射能が大気中に拡散し健康被害を懸念する住民の声を無視し、仙南クリーンセンターにおいて3月末に試験焼却を決定した。



▲町民の健康への被害が懸念される

町長 汚染廃棄物の一時保管を長期間強いられている農家にとつて、早急に対応が必要であると判断し理事会で賛成した。

問 環境省の「バグフィルター99・99%除去」について日本科学者会議の機関紙では、バグフィルターの除去率の検証に0・3マイクロメートル以上の粒子しか捕捉できない装置を使っており、バグフィルター通過後の排ガス中の塩化セシウム粒子の約2割が0・1マイクロメートル以下である

町長 実際に基準値を超えて検出された事実はなく、国・県の示すもの理解の根拠を得ている。

教員の多忙化解消は急務

問 残業が月80時間以上の「過労死ライン」に達する教員の現状は。

教育長 35名いる。全教員の25・5%。部活がある中学校教員がほとんど。

問 教員の業務削減にどう取り組んでいくのか。

教育長 行事の見直しの中で精選や会議時間の短縮・効率化等進めている。

問 小学校英語が新設される。児童への負担は。

教育長 3年生から週一時間増となる。夏・冬休みの短縮を考えている。

問 英語専科教員の配置は不可欠。国に教員増を求めていくべきでないか。

教育長 国の計画では1000人配置となっているが本町は未定。国に求めていく。

歩道で30年とされている。わが町に設置されているマンホールの調査と、交換などの対応を進めていくべきだと思いませんか。

町長 本町では、町内パトロールや管渠清掃時に点検・調査を行ふための摩耗状況等により、随時交換等の対応を行っている。

未就学児のペナルティ廃止を

問 自治体が独自に行う子ども医療費の助成に対し、国では18年度予算案では未就学児分のペナルティを一部廃止して生じる経費として56億円を計上し、厚生労働省はこの財源を他の少子化対策に充てるよう求めている。本町で実施するにあたり、廃止される項目のチェックや、減額によって生じる財源の少子化対策への利用案などを進めていくべきと考えるがどうか。

町長 本町においては、これまで減額されてきた国民健康保険特別会計へ繰入れることなく運営したので、今回の措置による影響はないものと考えている。なお、国民健康保険へ繰入れしないことにより生じる一般財源については、これまで子ども医療費の年齢拡大や所得制限撤廃に充てているが、今後も少子化対策等のために活用したい。

問 マンホール劣化対策を

答 随時交換している

問 国土交通省は「老朽化したふたの規模は不明」とした上で「危険性のあるふたが一定数あるかも



▲町内で使用されているマンホール

しれず、各自治体は計画的に交換してほしい」と呼び掛けている。全国に設置されているマンホールのうち、約2割に当たる300万個が老朽化の恐れを指摘されている。マンホールのふたの標準耐用年数は車道で15年、



高橋 芳男

一般質問

一般質問



伊勢 敏

一般質問

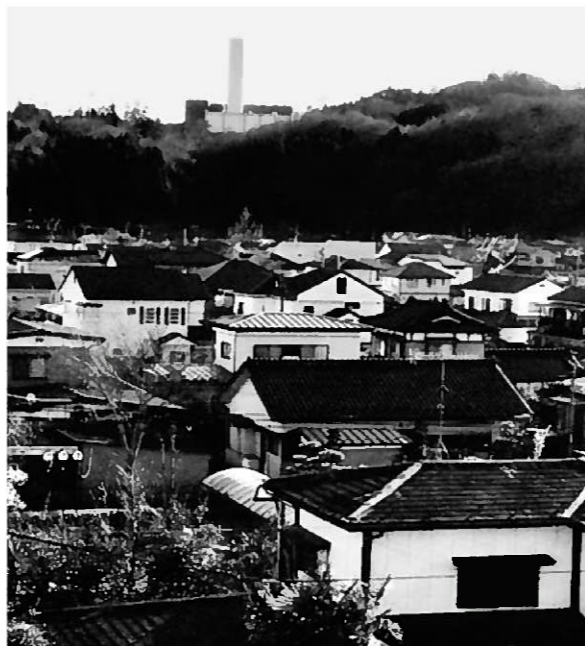
問 0.3ミクロン以下のばいじんは、焼却炉のバグフィルターを容易に通過する。排ガス中の放射能濃度は、バグフィルター通過後の排ガスを、0.3ミクロン以下のばいじんを

捕捉できない円筒ろ紙に通過させ、ろ紙に付着したくわすかなばいじんに含まれる放射能から算出。円筒ろ紙を素通りする0.3ミクロン以下のばいじんは付着した放射能や気体の放射能を捕捉できないにもかかわらず、「放射能は不検出」との主張は非科学的だ。

さらに、仙南広域が測定を委託している企業は昨年、環境省から委託さ

問 検証が必要な「放射能不検出」

答 立ち止まらず、決定通り焼却



▲セシウム付着の煙粒子を吸い込む危険性

れた測定業務において、検出されたにもかかわらず「検出せず」との虚偽報告を行ったため、環境省から契約解除と指名停止の処分を受けた。

以上のことから、仙南広域が公表している「放射能は不検出」とのデータは信用できない。

よって、「①過去の測定データの真偽の検証、②煙突からの放射能拡散

の有無についての検討機関の設置、③住民合意がない限り焼却の中止」を仙南広域に提案されたい。

町長 試験焼却に進むことになっており、指摘を受けたことで、立ち止まることができない。

※1ミクロン＝1000分の1ミリ

第6次長総（素案）について 戦略プロジェクトの見直しを 長総に環境政策の継続を

問 第6次長期総合計画に、①所得制限のない「子ども医療費無料化の継続」など（13項目）を明記してはどうか、②魅力があり「選ばれる大河原町」実現のため、素案に記載の総花的な「戦略プロジェクト」を見直し、メリハリのある重点政策とそれに連動する戦略プロジェクトの策定を求め、

③第5次長総の「現状と課題」に掲げていた地球温暖化への対応など「環境政策」が第6次長総で欠落しているのなせか、復活させてはどうか。

町長 個々の提案等への見解などの回答は控えるが、今後の取りまとめにおいて参考にする。

問 カトリック保育園前に歩道を

答 しっかり検討する



ます又 和也

一般質問

問 金ヶ瀬カトリック保育園舎整備事業も順調に進み、2月中旬に新園舎に引っ越し47年間使用された旧園舎も園児、保育園の職員の方々が惜しまれながら解体された。新年度からは放課後児童クラブ（定員40名）の開設も予定され通園する子供の数も増える。園児児童の送迎、小学校からクラブに通園する際の安全を考慮することから以下伺う。

答 金ヶ瀬カトリック保育園舎整備事業も順調に進み、2月中旬に新園舎に引っ越し47年間使用された旧園舎も園児、保育園の職員の方々が惜しまれながら解体された。新年度からは放課後児童クラブ（定員40名）の開設も予定され通園する子供の数も増える。園児児童の送迎、小学校からクラブに通園する際の安全を考慮することから以下伺う。

問 保育園からも要望が出ていると思うが、小学校から保育園（児童クラブ）

ブ）に通園する児童、そして送迎時の安全確保の観点から町道を老健施設向かいの農地側に拡幅し歩道を設置する考えはないか。

町長 歩道には基準があり約2メートルの土地が必要で建設費も大きなものになり整備は困難であると保育園側にも回答した。

問 土地の地権者から子供たちが安全に通える歩道を作るのであれば町に土地を寄付しても良いという話が町にあつたと思うが町長は聞いてないのか。

町長 平成28年10月に戻ってそれまでの話を聴いたが新たな要望からは消えていた。最近になり寄付をして良いという方が



▲歩道設置が望まれる園舎付近

いる情報は聞いている。

問 せつかく子供たちの安全のために土地を寄付してくれると言っていたので歩道を設置すべきと思うが。

町長 隣接地に土地利用の可能性はある。それが現実になれば、その折には歩道設置の要望、寄付

の気持ちも受け、しっかりと検討する。

問 児童が横断する、台部白坂線と金ヶ瀬西線の交差点で車両事故が発生しているが交通安全対策はあるのか。

総務課長 児童の登園の現状を見ながら検討していく。



ほり え かつ お 堀江 一男

問 桜カレンダー全戸無料配布を

答 検討する

問 我が町には、素晴らしい桜並木があるのに町民の桜に対する関心度は盛り上がり欠ける部分があると感じている。町民への啓蒙策として、観光物産協会が発行している「桜のカレンダー」を



▲300円で販売されているカレンダー

町長 現在、同協会発行の「桜のカレンダー」は、協会会員への配布を行い、その中でも事業所等においては、一目千本桜の啓蒙を兼ねて、店頭での提示をお願いしているところである。会員配布後に残ったカレンダーは、販売を行い同協会の収入としている。町連名となる

町との連名で全戸無料配布する考えはないか。

と販売収入の面で協議が必要だが、全戸配布につ

いて、検討する。

運動免許証返納者へ支援充実を

問 高齢者にとって運転免許証を返納することは、大変勇気のいる決断である。町の運動免許証返納者に対する現在の対応策として、デマンドタクシー利用券1万5千円分を一回だけ無料で交付しているが、これで充分と考えているのか。

町長 運転免許自主返納支援事業については、仙南2市7町においては、本町を含め1市2町しか実施しておらず、これまでの支援内容の拡充に関する要望等がなかったことから、現在のところ充分と考えている。しかし

町長 提案があったとおりに、宮城県内のタクシー会社で利用できる回数券の交付を検討し、デマンドタクシー利用券との選択制にしたいと考えている。

問 デマンドタクシー利用回数券だけでなく、タクシー割引券の選択制を導入する考えはないか。

道路交通法の改正や高齢化の影響により運転免許返納者の増加が予想されることから、その際は、状況に合った支援内容や支援方法を検討したい。

問 学びのへや満足度向上を

答 デスクマットで改善する



▲平成29年10月に開設された「学びのへや」

問 静肅性を保つための注意喚起等の対策は。

町長 学びエリア利用の際は番号札を受付で渡している。札の裏面に注意事項を明記するとともに声掛けを行い、館内にも利用マナーについての掲示をしている。職員が定期的に状況確認をし、快適に学習できるように日々努めている。

問 お昼を挟んで学習する際、オーガ内に弁当などを広げられる場所を確保できないか。

町長 以前はテーブルスペースがあったが、迷惑行為等、多くの問題があり撤去の経緯がある。新たな設置は難しいが、空いている研修室の開放などを検討する。

作業所さくらひろびろひろびろ問

問 通所者の送迎を再開できないか。

町長 車輛の確保や職員の負担等、難しいと考える。

問 担当課による定期的な訪問や保健師による診断等は行われているか。

町長 指定管理のモニタリング及び施設の状況確認等で、年に4回ほど担当職員が訪問して活動状況等を見ている。また、保健師による健康チェック等は行っていない。

問 作業所内にAEDを配置すべきではないか。

町長 必要性等について関係者等から意見を聞き、検討したい。

問 資源回収による収入増のため、町内事業者にダンボール等の古紙提供協力依頼をしてはどうか。

町長 現在7事業者からご協力をいただいている。今のところ新たな事業所への働きかけは考えていない。

オリジナル届出用紙作成を

問 町オリジナル婚姻届、出生届を作成してはどうか。

町長 さくらつきーを使用した届出用紙と記念撮影用のパネルについて、

現在作成しており、近々使用を開始するとともに、広報やホームページで紹介したいと考えている。

一般質問

一般質問



おお ぬま ただ ひろ 大沼 忠弘



さくまかつあき 佐久間克明

一般質問

町長 大雪であれば出動も考えられるが、地域の一人として共助による除雪活動をお願いしたい。

町長 大雪であれば出動も考えられるが、地域の一人として共助による除雪活動をお願いしたい。

本町にどのような形が適するのかが検討する。

総務課長 機能別消防団員制度もあることから、

総務課長 確認の上、団と相談する。

地域経済の今後の見通しは

を行政側も持つことが必要ではないか。

町長 役場は残念ながらマーケティングみたいな仕事に目をつける大切さは理解できる。具体的に取組むには難しい面もあるが組み上がった行政施策を勉強する。

町長 公共施設更新時期や町の活性化につながる施策など立てられているが、民間との連携も必要ではないか。

町長 幅広い民間との連携が重要であると考える。

町長 東京都豊島区役所は、49階高層マンションと区役所を一体化し、販売価格で区役所建設費が0円だった。そのような発想

町長 現在、駅前大通り線について、段差解消を行っており、町内市街地の交差点についても、現状を確認し、利用者に配慮した段差の解消を図る。



▲総務省から示されている平成29年度資料

非常備消防団の活動力強化を

OB会、機能別消防団も検討

消防団員は班が設置されている地域で生活し、地域に一番密着している団体と考える。地域住民に消防団活動を理解していただき、団員確保

町長 消防団と相談する。大雪による積雪の際は、弱者救済のため消防団へ出動をお願いできないか。

歩道の段差をなくせ

利用者に配慮した段差の解消を図る



▲段差解消が図られる町道交差点

安全安心な歩きやすい歩道のバリアフリー化に関する現地調査を実施し具体的な計画策定に着手する考えはないか。

町長 本町では、国の「高

齢者、障がい者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」、バリアフリー新法に基づき、平成25年4月に「大河原町移動等円滑化のために必要な町道の構造に関する基準を定める条例」を定めている。高齢者や車イスの方に段差のないバリアフリーが求められているが、視覚障害の方の配慮のた

一般質問



やまざきつよし 山崎 剛

桜保育所の建て替え後の公園は

桜保育所は、今後の保育所環境の整備の中で南桜公園内に新築移転計画する一方で、移転後の保育所跡地は公園化すると聞くが具体的に進んでいない。子育て支援を重視した公園整備を行う必要があるため伺う。

町長 桜保育所の建て替えについては、南桜公園を第1の候補地として検討している。今後、公園の廃止手続きも必要なことから、県及び町の都市計画審議会の同意を得て



たかはし ゆたか
高橋 豊

問 大河原商業高校跡地 活用の議論を

答 県への働きかけを行っていく

柴田農林高等学校と大河原商業高等学校が、2023年度に統合される予定となっており、現在の柴田農林高校敷地に新校舎が建築される予定である。統合後に残された大河原商業高校の跡地活用について現在議論がなされていないように見える。施設等老朽化しているが、耐震化工事は完了しており、東日本大震災時にも避難所として利用された経緯もある。建物の規模や敷地等が大きいので、今後の活用について町民の関心も高い。全国的にも、児童生徒数の減少、市町村合併などの影響により多くの廃校が発生しており、その施設

の有効活用が求められている。しかしながら、廃校になってから活用が図られず、遊休施設となつてしまっているものも多く存在している。その理由として、各地方公共団体において活用が検討されているものの、地域等から要望がない、活用方法がわからないといったことが挙げられている。

の意向を踏まえて、移転後の跡地活用について、積極的にわかちあいていくべきと考えるがどうか。

るよう、県への働きかけを行っていく。

※マーケットサウンディング調査とは、民間事業者から広く意見、提案を求める市場調査で、早い段階で利活用の方向性、市場性等幅広い検討を可能にする。



▲2023年度に統合される大河原商業高等学校

一般質問



しんぜん すずむ
須藤 慎

問 さらなる体力向上を

答 町全体として取り組んでいく

2月13日スポーツ庁より平成29年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査(全国体力テスト)」の結果が公表された。

前年度の調査結果を受けた町教育委員会としての取り組み内容は、

	大河原町	宮城県	全国
小5男子	54.45%	52.94%	54.16%
小5女子	57.34%	54.72%	55.72%
中2男子	42.22%	41.20%	42.11%
中2女子	48.30%	48.11%	49.97%

教育長 次のとおり。

「児童生徒の体力・運動能力の向上に係る計画の各学校に対する策定の義務付け」の現状は、

また、「体育の授業中にICTを活用する」ことが有効であることが示されているため、今後更に利用拡大を図りたい。

一般質問



▲大小の業前活動(6年生の朝トレ)

教育長 どの学校も、知育、徳育、体育の三つの柱を立て、教育計画を立てている。体力・運動能力を高めるための指導計画は、毎年吟味し、実践しているものと捉えている。

教育長 生涯体育やスポーツをいかに勧めるか、NPO法人はじめ、諸団体といかに連携して体力づくり及び健康づくりを推進していくか、今後の課題として捉えている。

教育長 学力向上とともに体力向上も重要と考える。教育委員会としての今後の取り組みは、

諮問1件

報告2件

補正予算9件

議案21件

大規模事業評価委員会条例の一部改正(案) 修正動議を提出し、原案を修正し可決

一部修正の上、可決

大規模事業評価委員会は、町が実施する大規模な公共事業について審議する諮問機関。改正前は、「維持・修繕」に係る事業が対象外となっていたため、今般の中央公民館改修事業は評価の対象から外れていた。さらに、工事着手後に追加工事等が発生し予算も大きく膨らんでいた。改正案では、施設の維持・修繕・改修に係る事業を評価の対象から除くとされていたが、その部分を削除するよう修正案が提出され審議された。

大河原町大規模事業評価委員会条例の一部改正

評価の対象事業となる全体事業費を1億円から3億円とする。また、事業費の金額にかかわらず、次に該当する事業は評価の対象としない。
(1)災害復旧事業
(2)施設の維持修繕及び改修に係る事業
(3)他の地方公共団体と共同で取り組む事業
(4)国及び県の補助金等を活用する場合で、審議に付するいとまがないとき

修正動議

提出者 丸山 勝利 大沼 忠弘 高橋 豊

全体の事業費を1億円以上から3億円以上引き上げるのは、事業の評価を行った後でなければ事業に係る一切の予算措置が行うことができないことや、基本計画などのある程度の詳細な計画がないところで審査会で審査が難しいこと、新規事業の迅速化や各種申請など非効率になってしまふことなどの点から理解できる。が、全体事業費の規定にかかわらず、(2)施設の維持修繕及び改修に係る事業については、3億円以上の規模の維持修繕及び改修工事では、建



▲評価対象予定の桜保育所

原案に対する反対討論

伊勢 敏

大規模事業評価委員会条例は平成26年、1億円以上の大規模事業の町民への十分な説明等を目的に制定された。議案では、①修繕や改修を引き続き対象外とすること、及び、国等の補助金活用の場合には評価を求める時間がな

いことを理由に評価の対象外とすること、②説明の中で、今後は学校施設等も評価の対象外とする旨の考えが示されたこと、③対象を1億円から3億円に拡大することは改悪であり、以上を理由に反対する。

修正案に対する賛成討論

佐久間 克明

現制度の改善に取り組むことに対し一定の評価と理解ができる。しかし、①維持修繕及び改修に対して明確な定義がないこと。
②重要案件の議会報告については予算規模に関わらずこれまでも行っており、今後変更はありません。」との記載があること。
③改修工事で補正追加の繰り返しになる可能性があること。
④3億円以上となれば、建て替えも含めた議論となる可能性もあること。以上の理由から(2)の削除に賛成する。

人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること

鈴木 浩子氏

平成30年6月30日で任期満了となる鈴木浩子氏を全会一致で再任。

大河原町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定

法改正に伴い、権限が県から市町村に委譲されるために制定

権限移譲がされるといふことで、今提案がされているが、地域包括支援センターの関連は。

事業所の指定になるので、包括支援センターは関係ない、介護保険係が担当となる。

権限移譲になった際の、財源の裏づけは。

交付金の関係とかが、事業所の指定ということで、特にお金が出てくるといふ話ではない。



▲完成した稗田集会所

大河原町集会所設置及び管理に関する条例の一部改正

稗田前集会所移築に伴う改正。

大河原町工場立地法地域準則条例の制定

法改正に伴い、緑地及び環境施設の面積率が緩和される。

緑地面積の緑地とは何を示しているのか。また、環境施設とは。

緑地とは庭木、植木、樹木。環境施設とは噴水、貯水池、ソーラーパネル等。

特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

農地集積を進めるため、農業委員会委員の基本給の他に年額で予算の範囲内において規則で定める額の能率給が支給される。

能率給の算出根拠は。農地パトロールや農地の集積達成率により支給される。

町長等の給与に関する条例の一部改正

国の特別職の職員の給与に関する法律の改正または近隣市町の改正状況等を踏まえ、町の特別職報酬等審議会に諮問を行い、その答申に基づき、今回改正を行うもの。期末手当については、6月支給分については、「100分の150」から「100分の157・5」に、12月に支給分については、「100分の165」を「100分の172・5」に改めるもの。

大河原町工業用地造成事業特別会計条例の廃止

川根工業団地造成終了に伴い、同条例の廃止。



▲川根団地内のアイリスオーヤマ(株)大河原工場

平成29年度一般会計補正予算(第1号)

元大河原町議会議員である大場吉樹氏より、教育及びスポーツ振興への活用を目的とした3000万円の寄付を受ける。今後、今回の寄付金を主な財源とした基金を新たに創設する予定。

2月会議

議員研修会開催

議員研修会参加

中央公民館複合化改修工事請負契約の変更

変更前の契約金額 3億4980万円
変更後の契約金額 3億6262万円

主な変更内容
●2階調理室に厨房設備を設置
●断熱化対応工事として、既存建物外壁、天井、屋上スラブに現場発泡ウレタン吹き付け

●公民館内外のサイン工事



▲工事が行われている中央公民館

平成29年度一般会計補正予算(第9号)

今年度予算に歳入歳出それぞれ460万円追加し、今年度予算を86億9898万円とする。

主な内容は歳入についてふるさと寄付金、し尿汲取り手数料の増収等。

歳出について

ふるさと寄付金返礼品、古くなった備品購入等。



▲注目されているふるさと寄付金返礼品の一例

1月29日、本町役場大会議室を会場に「平成29年度大河原町議会議員研修会」を開催し、区長はじめ町民の皆様や2市8町議会議員、本町職員等約90名にご出席いただきました。

特定非営利活動法人防災士会みやぎ理事長である菊地正徳氏、理事で県南地域担当の高橋健一氏、繁野みどり氏をお招きし「地域を取り巻く防災・減災の取り組みについて」と題し、全国で発災し甚大な被害を及ぼした最近の災害現状を参考に、地震・風水害・火山対策など自然災害への心構えや、地域住民の災害時の的確な対応について、講演いただきました。

- ①白石川の洪水予報標識並びに洪水予報水位が変更になっていること。
- ②平成28年台風10号の岩泉町での被害を受け「避難準備情報」が「避難



準備・高齢者等避難開始」に改正になったこと。③最近の自然災害の激甚化等を踏まえ、浸水区域が100年に1度の雨量から1000年に1度規模の豪雨を想定した洪水浸水区域に見直されていることから、本町においても防災計画、防災マップを確認・改定の必要性があること。

○仙南・巨理地方町村議会議員合同研修会
期日 平成30年2月6日(火)
場所 蔵王町ごさいんホール
演題 朝日町議会活性化の取り組み事例
(意見書・決議の活用)
講師 山形県朝日町議会 議長 岡崎 吉博氏 副議長 柴田喜久雄氏

○蔵王町議会
町民と議員の学習会
期日 平成30年2月20日(火)
場所 蔵王町ごさいんホール
演題 議会改革を進め、町民に信頼される議会へ
副題 町長と切磋琢磨し、町民福祉向上を目指す
講師 長野県飯綱町議会 前議長 寺島 渉氏

《平成29年第5回定例会(2月会議)及び平成30年第1回定例会(3月会議)議案等審議結果》

Table with columns for item name, decision date, decision result, and individual council members' votes (賛成, 反対, 欠席, etc.).

議決責任の明確化

《表決の区分》 投：投票 ○：賛成 ×：反対 退：退席 除：除斥 欠：欠席 議：議長なので表決に加わらず

その後どうなったあの提言

議員が行う提言は、町政にどのように反映されているのでしょうか。これまでの質問の中から、その後の経過について調査・追跡しました。

総合案内の設置を



▲来庁者への利便性が向上しました

提言

役場玄関ロビー内に総合案内コーナーを設置し、ワンストップサービスが行える担当者を配置すべき。役場来庁者の利便性とサービス向上を図るべき。

議員の提言
(一般質問)
平成26年3月
平成29年9月
平成29年12月

平成30年
4月から
サービス開始

追跡結果

平成30年度一般会計で予算化し、役場庁舎1階ロビーに実現。来庁者の案内や会議室の案内を行う。サービスは平日9～12時、13～16時。

防災士の育成を



▲より多くの防災士の誕生が期待される

提言

防災士資格取得は防災・減災を学ぶ機会であり、防災士を育成せよ。防災・減災教育の視点から中学生高校生も対象に含め、各行政区に配置できるよう受講料の一部補助すべき。

議員の提言
(一般質問)
平成26年3月
平成29年3月
平成29年6月

平成30年
4月

追跡結果

平成30年度一般会計で50万円を予算化。「防災士資格取得支援事業補助金」で資格取得に係る支援を行う。

委員会調査 町への提言

文教厚生常任委員会
視察研修
○日時 平成30年1月17日～19日
○視察先 愛知県東郷町・一宮市
○出席議員
委員長 須藤 慎
副委員長 万波 孝子
委員 山崎 剛
委員 秋山 昇
委員 庄司 充
委員 柘 和也
委員 佐久間 克明
○調査事項
東郷町
●子育て支援策全般について
●放課後子供教育
●病児、病後児保育について
●はぐみんカードの取り組みについて
●パパママ教室の取り組みについて
一宮市
●ICT技術を活用した教育への取り組みについて
●児童、生徒の学力向上に向けて
●教員へのICT技術の向上対策について

調査結果
東郷町
○調査結果
「子育てするなら東郷町」を掲げ、子育て支援ナンバーワンを目指した取り組みが数々行われている。転入者も増え、まさに県下ナンバーワンを目指すにふさわしい事業内容であった。
一宮市
文部科学省の研究指定を受け、主にプログラミング教育に力を入れた取り組みが行われている。教育センターを立ち上げる等、教員の研修も充実している。



▲「Pepper」を活用したプログラミング教育

所管事務調査

総務産業常任委員会
南原町(上川原区)の冠水被害対策について
幹線排水路の排水能力が悪く、大雨時に冠水被害が多数発生している状況にある。民間企業が浸水区域にある用地に建物を建設する計画があったため、町で用地を取得し将来に向けた冠水被害対策を進めていく。
農業生産の近代化について
「農事組合法人かながせ」における集団転作(大豆・大麦・えだまめ)の取り組みが行われている。平成18年11月に6人で法人を設立。効率的で品質の高い生産の維持、



▲購入された脱穀機

雇用の確保、後継者育成等、地域農業振興にも貢献していく。

文教厚生常任委員会
町内小中学校におけるICT教育の現状と課題
本町のICT教育環境は県内でも進んでいると評価されている。平成30年度には教員に一人一台タブレット配置が完了予定。
介護認定率と地域包括支援センターの現状について
全国平均、県平均に比べて極端に低い現状にあるが、介護が必要とする町民が安心して介護サービスを受けられるためにも更なる検証が必要である。



▲専門監によるレクチャー

こんな町に住みたいな



金ヶ瀬小学校 宇松浦 悠希

ぼくの住みたい町は、ごみがなく、自然の豊かな町です。

最近の大河原町の公園には、おやつのごみなどが落ちています。みんなが使う所に落ちていのは、とても、みんなを不快な気持ちにしています。ごみが落ちていると、自然が豊かな町とは言えないと思います。だから、ぼくは自然を豊かにするために、ごみは、ごみ箱に捨てるのが大事だと思います。少しづつきれいに、ごみがなく、自然の豊かな町に住みたいです。



金ヶ瀬小学校 高橋 明

私が住みたい町は、「豊かな自然のある町」です。自然は四季によって見える景色が変わります。秋は紅葉した山を眺めたり、冬は雪景色や寒椿を楽しんだりすることができます。大河原町では、春に一目千本桜が咲き、桜祭りが行われています。そして、その周りにはたくさんの方々の笑顔があふれていました。自然はいつでも見る人を笑顔にしてくれる素晴らしいものだと思っています。だからこそ、わたしは豊かな自然のある町に住みたいと思います。

6月議会のお知らせ 議会を傍聴しませんか
招集日 6月6日(水)・再開日 6月12日(火)
 詳細は議会事務局まで ☎53-2800

街かどワンショット

観測史上2番目の早さで開花した今年の桜。

4月4日の桜まつり前にはほぼ満開になりましたが多くの来場者で賑わいました。本年より駅前オーガの壁面に掲示された「WELCOME TO OGAWARA TOGAWARA」の横断幕。ご覧になられましたか。近年、多くの外国人観光客が大河原町の桜を見るためにご来場いただくようになりました。町の宝が世界中の方々から見えていた。ける現代。私たちが何気なく生活している中に、まだまだ多くの宝があるかもしれません。



11月9日、13日に開催の議会報告会
 でのご意見・ご要望に対する回答を議会ホームページに掲載しました。ご覧
 ください。



編集後記

「議会だより」は、議会活動の概要を公開し、身近に感じていただき、住民の皆さんの関心を高めることで、住民が議会と行政に注目し、参加していく好環境をつくるという重要な役割を担っています。委員が心掛けていることは、「町民の皆さまに親しまれ、読みやすく、議会の様子がよくわかる」紙面づくりです。研修会に出席するなど一層努力致します。

議会改革の一環として議会広聴常任委員会を昨年設置しました。「議会報告会」に対するご意見をお寄せいただければ幸いです。(万波 孝子)

編集発行責任者

議長 佐藤 貴久

議会広報常任委員

委員長 佐久間 克明

副委員長 須藤 慎

委員 万波 孝子

委員 大沼 忠弘

委員 伊勢 敏

委員 高橋 豊